

「 台風が来た 」

神奈川県 秦野市立本町小学校 4年 ^{こだま}児玉 ^{らいむ}來夢

私は、この夏休みに土砂災害について考えさせられる出来事がありました。

おぼんに、大きな台風が日本にやってきました。私は、奈良県にあるおじいちゃん、おばあちゃんの家遊びに来ていました。台風のえいきょうで、奈良県は雨風がとても強かったです。テレビをつけると、奈良県の土砂災害がおこりそうな地いきでは、すぐにひなんをするようによびかけていました。

私のいるおばあちゃんの家は、ひなんをする地いきではなかったのですが、同じ奈良県内の遠くない場所では、がけくずれがおこったり、川の水があふれて家が流されるかもしれないけんがあったりすると思うと、とてもこわくなりました。土砂災害は今まで遠い場所でのことだと思っていましたが、身近に感じるようになりました。

私は神奈川県秦野市に住んでいます。私の通っている小学校のとなりには、水無川というその名のとおり水のない川があります。ふだんは水がほとんど流れていないので子どもたちが遊んでいます。しかし、台風などで大雨になると川の水がふえ、流れが強くなります。川の堤防は整ひされていて川の水があふれて道路にでないようになっています。もし、この堤防がこわれてしまったら大変なことになってしまうでしょう。私の通う小学校やその近くにある市役所、弟妹の通う保育園にも水がおしよせてくるはずで

す。今まで大雨で川の水がふえることや、堤防がこわれてしまうことなど考えたことはありませんでしたが、台風のニュースを見て、自然の力は予想をこえることがおきてしまうので、私の住んでいる地いきでもいつか大変な災害がおこるかもしれないと思いました。

では、土砂災害がおきたとき私たちはどうしたらいいのでしょうか。テレビのニュースや、地いきの放送にしたがって、私の住む地いきがひなんしなければいけないときは、ひなん場所へすぐにひなんしなければいけません。日ごろから、ひなん場所はどこにあるか、どうやってそこへ行くのか調べておくことが大切です。また、私は小学校、弟妹は保育園、お父さんお母さんが仕事に行っているときに災害がおこったら、ひなん場所がみんなばらばらになってしまうかもしれません。家族みんながどこにいるかあらかじめ知っておくことも大切です。今回のおぼんの台風のように、ふだんくらしていない地いきで災害にあったときは、ひなん場所も行き方も分からないから、とても不安になるかと思えます。すぐに近くに住む大人の人に助けをもとめに行けるように行動できるようにしたいと思いました。

今回のおぼんの台風のニュースは私が自然の力のすごさを実感し土砂災害について考えるきっかけとなりました。これからは、私の住む地いきのひなん場所のかくにんや行き方のかくにんをしていこうと思えます。また、私の家族にも土砂災害について私が考えたことを伝えて、安心してくらせるようにしたいと思えます。